十四日夕刊

磐城時報

福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷人　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　福島縣石城郡平町紺屋町十五　加納活版所
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ケ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五十錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

今曉古鍛冶町の火事
七戸五棟全燒
損害一萬圓以上

平町古鍛冶町米穀商大谷安次郎方風呂場附近から十四日午前二時頃發火し隣接した人力車業青天目義雄、燒芋屋國井仁太郎、魚商武井武左工門、易者青山忠次郎、呉服商高田重郎の六戸五棟を燒失し午前三時半鎭火した損害一萬圓以上の見込みで發火原因については平署で調査中である。

小名濱港
設計變更か

近く適當の敷地を選定して事務所、倉庫、機械修理工場等を新築することになつてゐる小名濱港修築事務所は既報の如く九月十五日まで小名濱測候所内に於て一切の事務を執る事になつてゐるが目下チョ木所長を主任技師とし前圖技師以下十名の職員が諸準備に忙殺されてゐる、工事箇所の海底地質調査並に深淺測量、海岸の地形測量及び高低測量等は數日中に着手することになつたがこれ等測量は同港修築の根本となる非常に重要なものであるが潮流變化の測定が非常に困難なため近く自記檢潮器を設置して絶ず變化を測る筈である、潮流による漂砂の移動は特に愼重な研究をなし然る後完全な防砂堤を築造する由であるため調査の結果は内務省の現設計案は多少變更されるものと見られる。

選擧費用の最高は
荒川氏の百九十九圓

平町會議員候補者の選擧に用ひた費用は規定により夫々選擧事務長から平署に届出でたが十三日迄に届出でたもの左の如くである。

石山治三郎	一八四円二〇〇
井上茂作	一四四・〇〇〇
花澤兎五六	一八九・一一〇
櫻井清	五七・八九〇
荒川恒次郎	一九九・二三〇
千葉彦治	一五二・六一〇
萩原義雄	一七一・五一〇
荒川淺次郎	一四〇・七四五
吉田寅之輔	一四三・五九〇
柳下元吉	一五五・三二〇
馬目雅治	一五三・五一〇
馬目武之助	一五八・〇〇〇
佐々木健一郎	一八〇・六九〇
武田元之助	一七三・八二〇
高橋龜松	〇七・四〇〇
吉村安次郎	一三三・三三〇
野崎滿藏	一三九・八九〇
加納五郎	七三・一五〇
吉田五平	一八一・四八〇
國府田直良	一七五・五〇〇
青沼鋒太郎	一二五・三〇五
大森勇	一四六・六七〇
鈴木光吉	九二・三七〇

今曉の
強震

十四日午前五時半頃石城地方に強震あり、小名濱測候所の發表によれば發震は午前五時二十三分二十八秒八で震動時間七分四十秒八、水平動で最大震幅は南に一糎六（約五厘）である。

紺屋町
貯蓄會決算
利益一千余圓

創立十八ヶ年の歴史を有する平町紺屋町貯蓄會は會長會川卯三郎、副會長柳下元吉、會計高木信太郎三氏以下役員一同の盡力で日に增し好成績をあげつゝあるが同會では此程昭和三年度の決算を行つた處、總積立金二萬一千六百八十二圓貸出金二萬九百五十七圓で利益は一千三十五圓に達した、利益金は一口に對し五錢宛の配當金の外利益配當として一口につき九錢宛を附す事になつたが、創立後十八ヶ年を經た貯蓄組合は平町として珍らしく更に將來の活躍を期待されてゐる。

四倉海岸に押しよせた
鰯の大群
海色赤色に變る

十四日午前十時頃四倉海岸防波堤附近に鰯の大群押しよせ海色が赤色に變つてゐるのを四倉町新町菅波末吉所有アグリ船乘組員が發見し早速漁獲の準備を整へたが、今日まで鰯の大群が沿岸十間位の場所に押しよせた事なく、昔よりの話によるとかゝる年は鰹大漁の年であるといふので漁夫速は大喜びである。

原町通信

▲大甕村議當選者

從來同村は政治思想の發達せる部落にて政民の色彩も濃厚の爲め村議戰も可成り大激戰を演じ開票前日に至り名乘りを擧げたる者等あり相當混戰を極めしが結局左の當落に依り一段落を告げたり。

▲七二八瀧尾一（民）▲六一新川久太郎（政）▲六〇池田定吉（政）▲五六木幡久助（民）▲五二佐々木雄助（政）▲五一瀨川彦次郎（政）▲五一杉清隆（民）▲四九佐藤兵助（民）▲四七北原隆（民）▲四七赤坂豊治（民）▲四六仁坂宗治（民）▲四三佐藤平藏（政）▲四二早川榮治▲四一原田宗之助▲四〇愛原藤太郎▲五奥村文治

▲新舘村當選者

▲澁佐常松▲山本正治▲佐藤倉治▲川村宗八▲菅野茂巳▲大内直太郎▲高橋藤五郎▲高橋清助▲木幡武雄▲三輪文治郎▲木村富作▲志賀千代馬

▲原町徵兵檢査

來る廿六日より廿九日まで原町尋常小學校公會堂に於て上直野村、八澤村、鹿島町、眞野村、原町高平村、太田村、石神村、大甕村、小高町、金房村、福浦村、新舘村、飯曾村の諸町村の壯丁を檢査する筈

相馬郡教員
庭球大會

相馬郡小學校教員庭球大會は年中行事の一として毎回行はれつゝありしが來る十六日相馬農蠶學校々庭に於て開催するが優勝旗の掠奪戰の爲め活氣を呈すべしと。

▲相馬農蠶學校蠶況

原町相馬農蠶學校蠶況は目下五齡五日目にして發育佳良なりと

▲中學校長歡送迎會

相馬中學校長千秋長谷兩氏の歡送迎會を中村町新開樓に於て十四日午後三時より開催すると。

▲奇篤なる娘

原町一丁目西裏井桁かね（一九）は牛趣鎭守手長稻荷神社へ此程一家を擧げ東京へ轉居する事になりしを爲記念品として振鈴を社前へ寄進せりと。

▲町議應援演說

民政黨では十三日午後八時から小名濱小學校に於て町會議員選擧の應援演說會を開いた。

▲平驛落成近し

既報平驛落成は來る七月四日の豫定となつて居るが工事が極めて順調に進んだゝめ來る二十五日頃落成することになつたので鐵道側では十七日頃落成祝賀の準備打合せを行ふと。

尾上多見丸
尾上菊三郎　一座
割引券
此券御持參者に限り十錢
十八日より於聚樂館

四倉市場初取引
昨年より遙に高値

四倉繭市場は十四日から開場したが初日取引は白繭三百六十六貫、黃繭二百四十五貫、合計五百五十一貫で白繭は最高八十五圓二十錢、最低六十九圓平均七十七圓、黃繭は最高七十八圓、最低六十七圓、平均七十四圓で昨年より遙に高値を示した。

▲馬車挽の賭博

永戸村合戸馬車挽青木常治（四六）澤渡村下市萱佐藤正一（三四）永戸村渡戸大竹儀八（四二）の三名は繭の取引は困難であるからその代はり現在の立橋を勾配を少くして鐵筋コンクリートに改造することになり水戸運輸事務所に於てそれ〳〵設計に着手したがこれを矢來安田儀十郎方勝手でガンチと稱する現金賭博を開帳中荒井巡査に捕はれた。

有賀、猪野
支店長代理

常磐銀行平支店有賀幸太郎（元平銀行主事）猪野廣（常磐銀行本店預金課長）の兩氏は六月十日附で平支店支店長代理に任命された。

平町の踏切
變更陳情

平町から度びく陳情した大工町踏切は目下鐵道省に於て財源難に陷つて居る際とて地下道開あつた。

鮪と鰹の大漁
何れも四倉濱に陸上げ

四倉町字新町長谷川清九郎所有船靜明神丸は十三日千葉縣勝浦沖合（航行時間三十時間）の海區に於て鮪の大群に遭ひビンナガ鮪五百尾、鰹三百尾を釣獲し同町長谷川長八所有船稻荷丸は四倉沖合に於て鰹二千五百尾を漁獲し十四日何れも四倉濟に陸上したが水揚相場は十七割内外であつた。

植田と勿來
繭市場
明日から開市

石城郡南植田及勿來の兩繭市場は年々好成績を擧げてゐるが今年も諸設備を改良し過般中より開場準備中のところ準備全くなり昨今弗々出廻り初めたのでいよ〳〵明十五日から兩市場共開市すると。

俳句片々（五）

曲水句帖六月號

耕した土匂ふ中に畫餉かな　犀涯

無雜作な農民生活を表はした事、無裝飾な生活狀態が句に溢れてゐる事、等が窺いるのである。農民の田園居住に種々なる生活を思ひ浮べて見ると、耕した土の匂ひの中に、目に靑葉若葉を眺め、鳥の囀啼を耳にして一家が自然の中に團欒の畫餉が思ひ浮べられる。「土匂ふ中」に一寸感じの移りやすく、動もすれば總意にも解釋される、然が一寸感じの移りやすく、動もすれば總意にも解釋される、然し「中に」を別な用語に云ひ變ひでも見たい樣な氣がする、全体が調法に整つた句切を持つてゐるのであるまいか、更に思ひ返し、深觀すれなれば月並調の傾向が濃厚である。運座点取りの宗匠の扱ひ方に似たものがある

× ×

道を問はるゝ我も旅人よ秋の暮　島人草

× ×

草萠の大地を打てば應へけり　栗杖

長い嚴寒に閉塞された、冬凍は何時しか新らしく春の恩愛に膝まゞきつゝも、草葉も彩色勃生の機會を與へたものである。甦生した萬物が嚴冬を衝いて、地上に躍動し初めた、生々しく窺知されてある。陽陰回轉の羽車が地上を打てば、地下より春が芽生えて來た、草萠ゆる新芽に春を乘つて土より地上に躍動した表象が、自然を咏へた樣が領てある。

背戸の柿か日に赤らむよ病める妻　路生

火事御見舞御禮

今曉火事の際は早速御駈付消火に御盡力下され候段厚く御禮申上候先は不取敢以紙上御挨拶申上候

研古組第二區

謝近火御見舞

平町杉の澤　佐藤一

類燒御見舞御禮

今曉近火のため類燒の際は早速御駈付御見舞下され候段厚く御禮申上候一々拜趨御禮申上ぐ可き筈の處混雜中御尊名伺洩れも可有之乍略儀以書上御挨拶申上候

平町古鍛冶町　安積屋吳服店

謝近火御見舞

今曉近火の際は早速御馳付御見舞被下有難く御禮申上候混雜中御尊名伺洩れも可有之乍略儀以紙上御挨拶申上候

平町古鍛冶町　水野虎三郎

家賃物

一、平町新田町目貫の場所
一、料理店向き

但し電話付き

姓名在社

近火御見舞御禮

今曉近火の際は早速御馳付消火に盡力被下御蔭樣にて鎭火致し候段御厚禮申上候一々拜趨御禮申可の處混雜の折柄御尊名伺もれも有之候につき略儀書中を以て御禮申上候

昭和四年六月十四日　古鍛冶町　敬具

天理教磐城平分教會

類燒御見舞を蒙り難有御禮申上候

去る四日午前十時附近より發火烈風に煽られた私宅並に店員宅倉庫共（約百坪）僅々三四十分間に燒失仕候得共事務所は不燃性建築の爲完全に燒殘り即時階上を假住宅とし同階下を事務所として營業仕居候儘一先御放念被下度就而は世俗に云ふ燒太るの意味にて努力致度存念に候是は偏に各位のより大なる御後援が燒太る原動力と存じ候間一層の御引立と厚き御交誼を賜る樣此機を活用奉懇願候　敬具

尙再建築は本月中に竣功の豫定を以て燒失翌日より着手致候間御安心被下度候

昭和四年六月十四日　堀江工業株式會社　江口忠一

内臟外科
骨關節外科
整形外科
專門　藤本順

◆六月十四日替り（プログラム）

◆松竹映畫　原作……前田孤泉　監督……星哲六
主演　阪東壽之助
怪異戰慄　振袖火事　全
助演者　相馬一平、正宗新九郎、關操、浦波須摩子、千早晶子、若月孔若　其他

◆日活スポーツ派力作◆　原作……清水隆二　監督……淺岡信夫
主演　廣瀨恒美
大學スポーツ　奮戰王　全
助演者　高木永二、鈴川和子、三樹豊、戸田春子、神戸光瀨良章太郎　其他

◆日活大作　キング連載　原作　監督　佛生寺彌作
主演　澤田清
劍聖　塚原小太郎　后篇
助演者　久米讓、山本絹技、市川小文治、藤野龍太郎、川上彌生、山田純三郎　其他

土日曜　學生デー　日活松竹　平館　電466

初夏

新案特許
デリケート麥帽子

燒く樣な夏の日にも「デリケート」は快いまでに涼しい散歩をさせてくれます

「デリケート」は自然に涼風の入る新裝置がしてあります

98　1.20　1.50　2.30

平四丁目　電一四〇

ツルヤ商店

近火御見舞御禮

平町古鍛冶町

佐藤芳松
永山富廣
新妻善宗
端山正男
大和田與平